



TOPICS

第5期 ソフィール協会総会を開催！

5月21日（木）に第5期ソフィール協会総会を開催しました。（三重県津市）

全国各地より正会員16社（32名）、特別賛助会員1社（1名）、オブザーバー1社（2名）、計18社（35名）の皆様に出席いただきました。

総会では第4期の事業報告及び決算書報告、第5期の事業計画（案）及び予算（案）について、協会事務局から報告があり、会員の皆様により承認されました。

講演会としては、正会員である株式会社沖創工による『スマートグリッドについて』講演をいただき、その後は勉強会として『ソフィール事業に関する最新情報』『平成26年度ソフィール実績の紹介』を行いました。

今後も協会としては、ソフィールを普及させていただくべく、会員相互の技術知識の向上と、新技術の提案などを検討していく場として活動をしていきたいと思っております。

ソフィールに関するお問い合わせについて、協会員の連絡先はホームページよりご覧いただけますので、今後とも宜しくお願いいたします。



編集後記

いつもソフィールNEWSをご覧いただき、ありがとうございます。
今回は前回の春号に続き、最近の納入事例を中心に作成をいたしました。ソフィールも全国170箇所の納入実績となり、これも皆様方からいただいた評価の賜物とありがたく感じております。
自分で担当をしたソフィールには思い入れもあり、近くへ行った時には現在の状況を見に行くこともよくあります。ソフィール協会としては、納入後の維持管理状況の把握に努めていきたいと思っておりますので、設置後年数が経過し再度ソフィールについて御質問のある場合は、協会事務局又はお近くの協会員へ御連絡いただけますようお願いいたします。
今後ソフィールを導入に興味のある方は、随時現場見学会なども行っております。製品に関する御意見や御要望などございましたら、お気軽に御申しつけくださいませ。

ソフィール協会事務局

◆ お問い合わせ先 ◆

ソフィール協会

三重県津市半田160番地 (アルコ(株)内)
TEL:059-213-8811 FAX:059-213-8880
URL:<http://sofil-kai.net/>
E-Mail:info@alcoinc.co.jp

ソフィール NEWS



全国170カ所に導入！ 環境型トイレ浄化槽！



▲東京都小笠原村「小港園地」

特集

最新の納入事例のご紹介

- ・ 東京都小笠原村「小港園地」
- ・ 大分県日田市「田来原公園」
- ・ 愛知県新城市「乳岩峡 公衆便所」
- ・ 愛知県丹羽郡扶桑町「木曾川扶桑緑地公園」(2ヶ所)

TOPICS

第5期 ソフィール協会総会を開催！

- ・ 「しがぎん」エコビジネスマッチングフェア2015に出展参加
- ・ ソフィールレポートをリニューアルしました



小港園地

場 所：東京都小笠原村
 施工年：2015年3月
 人 槽：20人槽
 汚水量：3.0m³/日
 発注者：東京都 小笠原支庁
 仕 様：処理水循環、雨水利用

施設概要

父島を含めた「小笠原諸島」は平成23年6月世界自然遺産として登録され、以降、観光客も年々増加しています。今回設置した小港園地は父島で最も大きなビーチで島内でも有数の観光スポットです。既存汲取トイレの改修で建物はそのまま利用、現場には水道設備が無いため雨水を利用しています。父島には3基目、世界遺産への納入実績としては11基目となります。



田来原公園

場 所：大分県日田市
 施工年：2015年5月
 人 槽：82人槽
 汚水量：14.9m³/日
 発注者：大分県 日田市役所
 仕 様：散水利用

施設概要

田来原公園のある大山町は大分県の西部に位置し、本公園は同町にある大山ダムの周辺に建設されました。田来原公園は大山ダムの水源地ビジョンにより計画され、「100年の森づくり」を理念とした公園です。本公園は地元利用もさることながら、都市部からの利用も想定していることから利用者の変動が大きく、水源地であるため環境負荷低減する必要があり、また山間部の公園で上水の確保が困難であることから、負荷変動に強く、循環再利用できるソフィールが採用されました。その後井戸からの採水が可能になったため、ソフィール循環利用から散水利用のタイプに変更になりました。

乳岩峡 公衆便所

場 所：愛知県新城市
 施工年：2015年3月
 人 槽：64人槽
 汚水量：2.6m³/日
 発注者：愛知県 新城市役所
 仕 様：処理水循環



施設概要

愛知県奥三河地区の観光スポットである「乳岩・乳岩峡」は国の名勝天然記念物で渓谷美と奇岩が織りなす絶景が売り物ですが、実は知る人ぞ知る「ロッククライマーの聖地（メッカ）」ともなっております。老朽化していた汲取式トイレを改修し、観光イメージアップを図りたい自治体が水洗式トイレを設置しました。上水設備が無く、美しい渓流への配慮からソフィールの循環方式を採用頂きました。設置場所は岩盤であったため、岩掘削に相当の時間を要しました。また、観光客が歩行しやすいように土系舗装で土壌浸潤槽の表面を仕上げました。



木曾川扶桑緑地公園(上流側)

場 所：愛知県扶桑町
 施工年：2015年3月
 人 槽：64人槽
 汚水量：3.2m³/日
 発注者：愛知県 扶桑町役場
 仕 様：処理水循環

木曾川扶桑緑地公園(下流側)

場 所：愛知県扶桑町
 施工年：2015年3月
 人 槽：96人槽
 汚水量：4.8m³/日
 発注者：愛知県 扶桑町役場
 仕 様：処理水循環



施設概要

木曾川河川敷に広がる約10haの町民に人気のアメニティスペースで、上流側はウォーキング&サイクリング愛好者の利用が多く、下流側は桜の名所です。複合遊具やバーベキュー広場も隣接し、休日は家族連れ、平日は学童の遠足で賑わいを見せています。当物件は10数年前に設置された2ヶ所の循環式トイレの洗浄水が着色し、悪臭を放つようになりました。さらに設置メーカーの廃業により維持管理もままならない状況となり、地域住民の「改善」への強い要望に後押しされた自治体様より改修を要請され提案・採用となりました。